

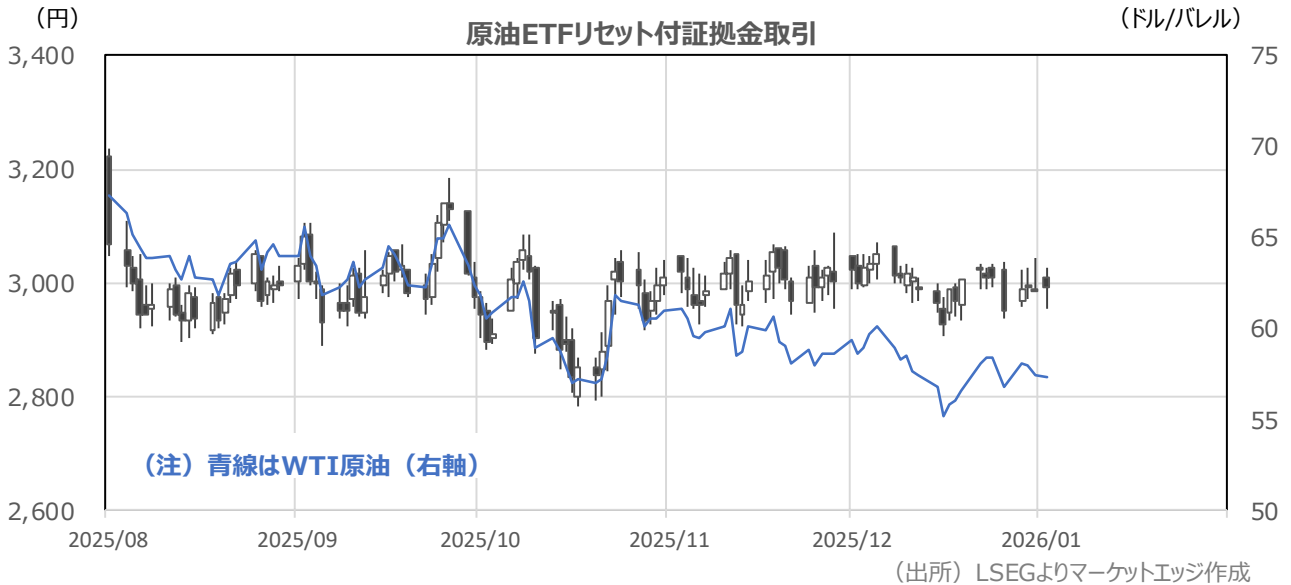
# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/01/05号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 需給緩和で上値重い、2025年は19.9%安

NY原油先物相場は、1バレル=58ドルを挟んでやや上値の重い展開になった。年末に向けて積極的に売買を仕掛けるような動きはみられなかったが、需給緩和見通しを背景に調整売り優勢の展開になった。ウクライナ和平協議が難航していること、黒海周辺でウクライナとロシアの激しい戦闘が続いていること、米国とベネズエラの対立激化、イエメン情勢の緊迫化、イランの抗議デモの広がりなど売買材料は豊富だったが、いずれも原油相場の押し上げ要因としては機能しなかった。

2025年は前年比14.30ドル安（19.9%安）となった。取引レンジは54.98～79.39ドルだった。年間を通じて需給緩和見通しの上値圧迫が目立つ展開になった。需要が伸び悩む一方、石油輸出国機構（OPEC）プラスが減産縮小（＝増産）を本格化させたことが、2021年2月以来の安値更新を促した。ウクライナ戦争、イスラエルとイランの軍事衝突など地政学リスク関連のイベントも豊富であり、瞬間的な急伸局面も目立ったが、戻りは売られる傾向が強かった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（12月26日時点）は、原油が前週比193万バレル減、ガソリンが585万バレル増、石油精製品が498万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【展望】

## 戻り売り優勢の地合が続く、地政学リスクの上昇は売り場に

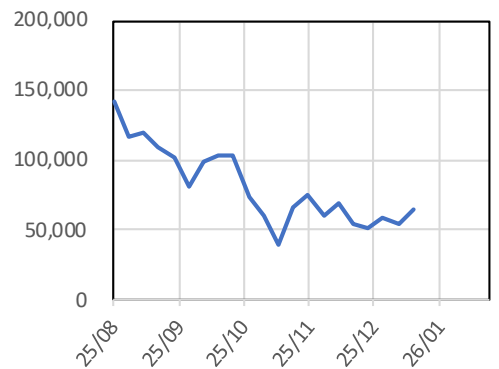
需給緩和見通しから戻り売り優勢の地合が続く見通し。地政学リスク関連の売買材料が豊富なため、瞬間的な上昇リスクを抱えるが、持続的な上昇トレンドに発展する可能性は低い。これまでと同様に、需給緩和見通しの値下がりを中心に、地政学リスクに起因した瞬間的な上昇の有無を探る展開が続く見通し。直近安値54.98ドル割れを試す可能性もある。

石油輸出国機構（OPEC）プラスは、1～3月期に減産縮小を一時停止する。このため、OPECプラスの供給水準が大きく変動する可能性は低下するが、あくまでも需要端境期への対応であり、需給緩和見通しに修正を迫るものではない。冬季の暖房用エネルギー需要が大きく上振れするようなことがなければ、マクロ需給要因から戻り売り優勢の展開が続く可能性が高い。

一方、地政学リスク関連の動きには注意が必要。ウクライナ和平協議は越年した。米国がロシア、ウクライナとの協議を進めているが、合意に達するかは依然として不透明感が強い。ウクライナ軍が黒海周辺で石油関連施設を攻撃すると突発的な供給障害が発生するリスクがある。イランでは物価高や景気低迷を受けて大規模なデモが発生している。抗議デモが全国的な広がりを見せると、原油生産・流通にも混乱が生じる可能性があるため、今後の展開には注意が求められる。

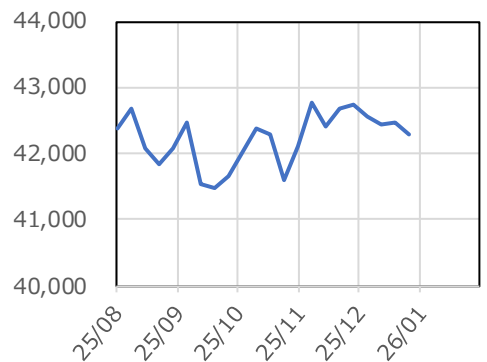
また、米国とベネズエラから出港する石油タンカーの数は減少していると報告されているが、1月3日には米軍が軍事侵攻に踏み切り、マドゥロ大統領を拘束した。地政学リスクの高まりで短期上昇リスクを抱えるが、米石油会社の関与で生産回復が進むのであれば、中長期的には逆に値下がり要因になる。

(枚) NY原油先物 大口投机筋ネット建玉



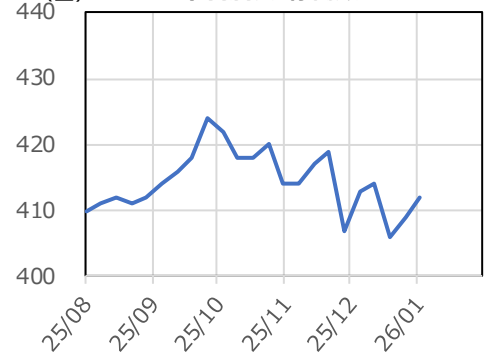
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

